



西川町 議会だより

「元気な子どもたち」シリーズ8

「西川小学校入学式」

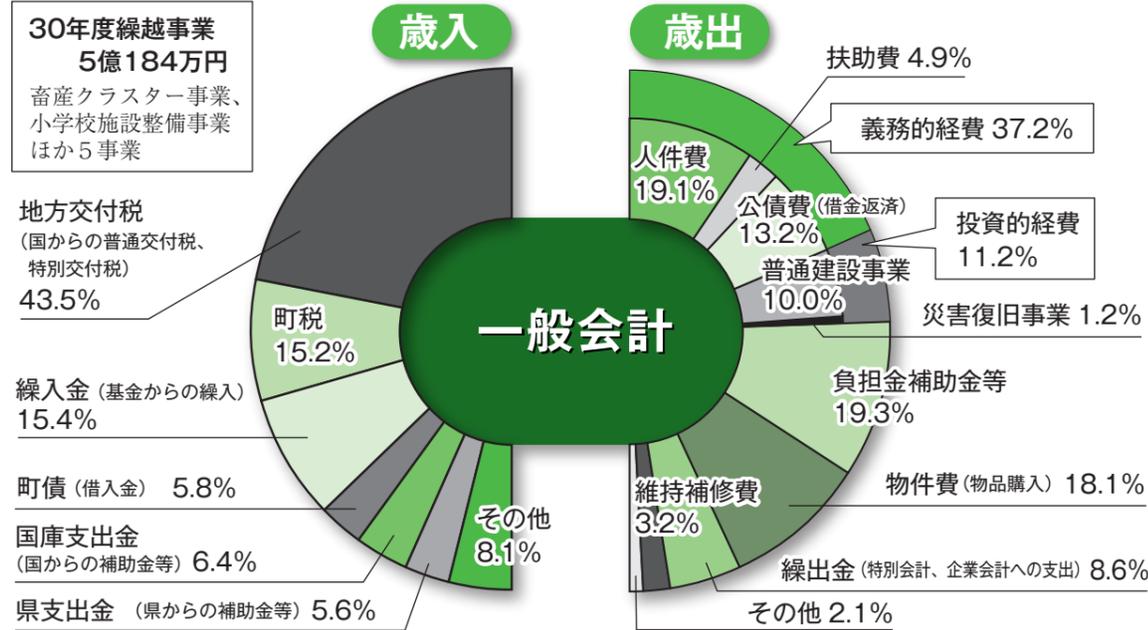
108号
2019.4.15発行
山形県西川町議会

人口5000人の維持確保を
新年度の予算をチェック
6人の議員が町政を問う
「令和」に踏み出す議会の取り組み
町の取り組みを今後も検証
知りたい!聞きたい!
今、旅立ちのとき

【3月定例会報告】…2頁
【予算審査】…6
【一般質問】…10
【議会活動から】…16
【常任委員会報告】…17
【読者モニターの広場】…19
【小中学校卒業式】…20

平成31年度一般会計予算 48億3000万円の予算を可決

前年度より2億1300万円減



特別会計

国民健康保険	国民健康保険 大井沢歯科診療所	公共下水道事業	農業集落排水事業	病院事業
5億7477万円 (3.5%減)	363万円 (1.0%増)	1億8032万円 (4.4%増)	2735万円 (1.9%増)	7億5192万円 (1.9%減)
寒河江ダム周辺 施設管理事業	後期高齢者医療	介護保険	宅地造成事業	水道事業
390万円 (1.3%減)	8543万円 (7.2%減)	7億3371万円 (1.0%減)	1459万円 (増減なし)	3億901万円 (14.2%減)

※()は前年度比

全会計予算を全員賛成で可決しました。

この予算に注目!

**のぞみをつなぎ
未来を展望できる観光施設整備**
【観光施設管理整備事業6873万円】
観光地「月山」のブランド化に向けた各種施設整備を図る。
*月山志津温泉新源泉掘削等補助
*月山リフト新設可能性調査委託

**地域再生につながる
森林資源の保全と有効活用**
【新たな森林管理システム推進事業600万円】
森林経営管理法施行に伴う民有林管理体制の整備を図る。
*新たな森林管理システム意向調査等委託
*森林環境譲与税基金積立

**全国中学生カヌー競技大会を
西川町「月山湖」で開催**
【全国中学生カヌー競技大会1250万円】
平成28年以来3年ぶりとなる中学生カヌー選手による全国大会を開催する。その運営にあたる実行委員会を組織し、町が負担金を支出する。
*大会実行委員会負担金

**医療費の個人負担無料化を
高校生まで拡大**
【子育て支援医療費給付事業1873万円】
子育て環境の整備を図るため、医療費の助成対象を高校生まで拡大し、子育て支援サービスの充実化を図る。
*子育て支援医療給付

5000人の維持確保を 町の最重要目標に!

3月 定例会

～新しい時代の町政運営とは～

**直面する課題に
町はどう挑むのか**
本定例会における町長の施政方針では、第6次総合計画「キラリ☆月山 健康元氣にしかわ」の前期の取組みをふまえ、後期基本計画の初年度として、その最重要目標「定住人口維持確保」が掲げられました。



- 1 全国に誇れる健康長寿のまちづくり
- 2 活気づく「農」「林」業の推進
- 3 のぞみをつなぎ、未来を展望する「人・商工観光業」の創造
- 4 保小中一貫教育の更なる推進
- 5 移住定住対策と地域づくり・人づくり

このことをふまえ、近年の危機的な人口減少に加え、急速な高齢化、企業撤退等による産業の衰退など、本町が直面している課題に対応し、5年先、10年先の未来を見据えた持続可能な町政運営を展開していくために、次の重点施策が示されました。

平成31年3月定例会は3月4日から13日までの10日の会期で開催されました。町からは31年度各会計予算(10会計)のほか条例改正、補正予算など29議案が提出され、慎重に審議した結果、全議案を可決しました。
一般質問は6人の議員が7件について行いました。

**議会として
どう対応するのか**
議会としては、町民のみならず、皆さんとともに考え、行動し、その総意を町に対して積極的に提案する取組みが必要であると考えます。
新しい時代を迎えるにあたり、これまでの慣習やしきたりにとらわれず、執行権者である町に対し、決定権者としての議会という自覚を持ち、ともに町政運営の両輪を担っていきます。

持続可能な町であるには、人口5000人の維持確保が絶対条件だと言えます。様々な課題が連鎖的にマイナスの方向へと回っているような状況を打破するのは、並大抵のことではありません。

さらに町長は、困難な状況から決して目を背けることなく、諸課題に全力で立ち向かうという意志を示し、これまでの取組みを継承しつつ、新たな時代にふさわしい町を築くため、今以上に積極果敢な町政運営に努めることを宣言しました。

3月 定例会

議会として同意

☆固定資産評価審査委員会委員の選任
 委員の選任
 澁谷 健悦さん(大井沢)
 平成31年4月17日で任期満了のため引き続き選任する。(全員賛成)

☆人権擁護委員候補者の推薦
 佐藤登紀子さん(入間)
 平成31年6月30日で退任する佐藤登紀子さんの後任として推薦する。(全員賛成)

全議案を可決

☆町道路線の廃止及び認定
 朝日連峰に至る重要観光路線である町道根子川線に

ついて、31年度から日暮沢小屋わきに駐車場整備を行うこと、さらに、災害時の復旧や交通開放を速やかに行うため、終点を日暮沢小屋まで延長する。
 (全員賛成)

☆辺地に係る総合整備計画の策定
 志津温泉掘削及び志津会館の整備の財源として辺地対策事業債を活用するため、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律に基づく総合整備計画を策定する。
 (全員賛成)

☆特別職の職員の給与に関する条例の一部改正
 町長、副町長、教育長の給料月額を31年4月から翌年3月までの間、それぞれ10%、5%、3%削減するため改正する。
 (賛成7、反対2/宮林昌弘、大江広康)

☆歴史文化資料館条例の設定
 旧川土居小学校校舎の2階と3階を整備し31年度にオープンする「歴史文化資料館」について、設置及び管理等に関する条例を新たに制定する。
 (全員賛成)



▲5月1日にオープンする「歴史文化資料館」と「かわどい亭」

☆かわどい亭条例の設定
 旧川土居小学校校舎の1階を整備し31年度にオープンする農山村交流施設について、「かわどい亭」として設置、管理するための条例を制定する。
 (全員賛成)

啓発等の森林整備及びその促進に係る財源に充てなければならぬため、基金として積み立て、活用するための条例を制定する。
 (全員賛成)

☆職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
 働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、時間外労働に関し必要な事項を規則で定めるため改正する。
 (全員賛成)

☆西川小学校冷房増設工事請負契約の締結
 6社による指名競争入札の結果、次のおり契約を締結する。
 契約金額 993.6万円
 契約の相手方 ㈱佐藤建設

☆ねたきり老人及び重度障害者介護者激励金支給条例の一部改正
 激励金の支給対象者の要件を変更するとともに、激励金の支給金額(年額)を1万円から3万円に引き上げるため改正する。
 (全員賛成)

☆町立病院及び町立診療所使用料、手数料条例の一部改正
 手数料等の一部を、消費税の税率改正並びに近隣の病院の実態等に即して定めるため改正する。
 (全員賛成)

【手数料等改正のあらまし】

区分	改正前	改正後
診断書料(1通)	1,500円	2,000円
死体処理料(1体)	1,000円	3,000円
洗濯機使用料	1回 150円	別に定める
衣類乾燥機使用料	1回 100円	
電気器具持込料	電気料相当額で別に定める	

☆放課後児童健全育成事業に関する基準を定める条例の一部改正
 厚生労働省所管の「放課後児童クラブ」の支援員の資格要件を変更するため改正する。
 (全員賛成)

☆町税条例の一部改正
 消費税の税率改正に伴い、町民税の法人税制の税率を11.9%から8.2%に引き下げるため改正する。
 (全員賛成)

☆国民健康保険税条例の一部改正
 国民健康保険税に係る資産割を廃止するため改正する。
 (全員賛成)

☆水道分担金徴収条例等の一部改正
 消費税の税率改正に伴い、給水装置分担金や使用料、手数料等にかかる消費税の税率を10%に引き上げるとともに、規定の整備を図るため改正する。
 (全員賛成)

☆水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正
 水道法施行規則の一部を改正する省令の施行に伴い、布設工事監督者の資格要件を変更するため改正する。
 (全員賛成)

補正予算関係議案及び審議結果

議案番号	件名と主な内容	議決結果	
承認第1号	30年度一般会計補正予算(第7号) 54億2937万4000円(5000万円追加) 【土木費】町道除雪委託 5000万円	可決	全員賛成
議第15号	30年度一般会計補正予算(第8号) 55億7210万1000円(1億4272万7000円追加) ※人事異動に伴う給与等の経費組替えのほか主な支出は以下のとおり。 【総務費】ふるさと納税対策事業 ▲1435万9000円 ふるさとづくり基金積立 ▲6503万円 県議会議員選挙費 194万2000円 【民生費】プレミアム付商品券事業 65万7000円 子育て支援医療給付事業(システム改修等) 61万3000円 【衛生費】病院事業会計繰出金 1700万円 【農林水産費】原内地内サイフォン管改修工事 2420万円 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金(畜産クラスター事業に伴う) 2億4969万9000円 【商工費】企業支援事業補助金 80万円 【土木費】町道除雪委託 5000万円 【災害復旧費】土木施設災害復旧工事 ▲400万円 農業施設災害復旧工事 ▲858万6000円 【諸支出金】地域福祉基金積立 101万2000円 ※入間地域資源保全会より1万2000円の寄附 ※(株)福寿館より100万円の寄附 <small>(株)福寿館:奈良県橿原市に本社を置き、同県と大阪府に計3つの飲食店を展開する会社。本町の吉川地区にある直営牧場(牛舎)で黒毛和牛を飼育している。</small>	可決	全員賛成
議第16号	30年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号) 6億2986万円(87万1000円追加) 【諸支出金】償還金及び還付加算金の返納金 49万9000円 【繰出金】町立病院医療機器等整備事業費補助分繰出金 37万2000円	可決	全員賛成
議第17号	30年度介護保険特別会計補正予算(第3号) 7億3635万2000円(1560万6000円減額) ※実績見込みに伴う各種保険給付費等の増減による。	可決	全員賛成
議第18号	30年度病院事業会計補正予算(第3号) 7億1971万9000円(既決予定額増減なし) 医業収益1700万円(入院収益500万円、外来収益1200万円)を減額し、医業外収益1700万円(他会計負担金:不採算分)を増額する。	可決	全員賛成

いっかき 予算を 審査しました

平成31年度予算審査にか
かる予算特別委員会（議長
を除く9名で構成）を、3
月4日から4日間にわたり
開催しました。
委員会では、一般会計、
特別会計、企業会計の歳入
歳出予算について慎重に審
議し、全て原案どおり可決
しました。主な質疑は次の
とおりです。

総務課所管

役場日直業務の委託

問 近隣市町の状況はどう
なっているか。また委
託先はどこか。

答 近隣市町では委託を実
施している。業務内容
を考慮し、委託先は警備会
社を候補と考えている。

消防団の活動と設備

問 小型ポンプが7台しか
ない。この台数で林野
火災や遠地火災に対応でき
るのか。



▶初期消火の重要な設備である
消火栓

答 山間地を多く抱える町
として、小型ポンプの
あり方を検討しなければな
らないと考えている。

問 人口減少により消火栓
の維持管理も大変に
なっている。今後のあり方
をどう考えているか。

答 消火栓は町内に289
基あり、初期消火の際
の重要な設備である。その
移設や新設は毎年の地域づ
くりヒアリングの際に要望
を聞き、現地調査をして対
応している。

問 仕事の都合で活動に出
られない方もおり、声
をかけて可能な方にお願
いしている現状である。

政策推進課所管

空き家対策

問 空き家購入への50万円
の補助にはどういう要
件があるのか。

答 県や町の移住・定住窓
口への相談が前提とな
る。その他にも様々な要件
があり、それらの制度化を
考えている。

ふるさと寄附金

問 寄附金収入に対し返礼
品等の支出がある。町
に残るのはどれくらいの割
合か。

答 今年度以降は34〜37%
が残ると考えている。

ホームページ

問 年間で5万件的アクセ
スがあるとはいえ、見
づらい。行ってみたいと思
わせるようであれば、移
住、定住につながる。
別の業者に委託するなどの
考えはないか。

答 移住、定住のホーム
ページを別で作って
いる。PRの仕方や見せ方を
考えながら見直しを図る。

山岳遭難対策

問 捜索隊員72人のうち高
齢者が増えている。ど
う対応していくのか。

答 仕事の都合で活動に出
られない方もおり、声
をかけて可能な方にお願
いしている現状である。

ふるさとCM大賞

問 今年も予算額が2万円
と少なく、作品の出来
栄えにも影響があるので
ないか。取組みの方向性は
これまでのCM作品をま
とめて町のPRに活用して
はどうか。

答 CM制作は、町の情報
戦略を確立し、効果的
はどうか。

まちづくり応援団

問 交流委員会運営補助の
交付先はどこか。その
運営の内容は町民にも知ら
せるべきでないか。

答 町民12名で構成する交
流委員会である。総会
並びに運営内容はできるだ
け町民に分かりやすくして
いきたい。

問 応援団の方々の交流
会には意義がある。町
の芸術文化などを披露でき
る催しにできないか。

答 交流会のあり方につい
て意見を参考に対応を
検討したい。

月山ジオパーク

問 今年も認定にならない
場合はどうするのか。

答 いかなる結果でも、こ
れまでの取組みを生か
した体験ツアーなどに活用
できると考えている。

里山社会・文化研究所

問 町内研究員募集の話は
どうなったのか。

答 募集は行なっていない。
より実践的な課題解決
型の動きができるよう見直
しをしている。今後の協議
の中で対応を進める。

町民税務課所管

マイナンバー制度

問 カードを作った町民は
どれくらいいるか。

答 30年12月1日現在の交
付枚数は470枚、人
口総数に対する交付率は
8・5%になっている。

衛生組合活動

問 衛生組合長の主な仕事
の内容は。

答 ごみステーションの管
理や不法投棄の見回り
等である。

産業振興課所管

西山杉利活用

問 ミニチュアのモデルハ
ウスが作られたと報告
があった。西山杉のPRの
ため役場正面玄関に展示
してはどうか。

答 役場ロビーに展示する
予定である。



▲「西山杉の家 基本モデル」
のミニチュア

仁田山放牧場

問 畜産クラスター協議会
を組織し、福寿館と提
携することにより、実質的
には一民間企業の事業に税
金を投入することになると
思う。それをどう考えるか。

ふるさとCM大賞

問 今年も予算額が2万円
と少なく、作品の出来
栄えにも影響があるので
ないか。取組みの方向性は
これまでのCM作品をま
とめて町のPRに活用して
はどうか。

答 CM制作は、町の情報
戦略を確立し、効果的
はどうか。

ふるさとCM大賞

問 今年も予算額が2万円
と少なく、作品の出来
栄えにも影響があるので
ないか。取組みの方向性は
これまでのCM作品をま
とめて町のPRに活用して
はどうか。

答 CM制作は、町の情報
戦略を確立し、効果的
はどうか。

商工観光課所管

教育旅行

問 受入体制について、難
しい現状になっている
のではないか。

答 東日本大震災以降、受
入れが激減している。
今後は、小規模校や企業研
修、大学のゼミ等の受入れ
で支援していく。

山形百名山「天狗山」

問 県道からのアクセスが
わかりにくい。看板を
設置してほしい。

答 看板は町のイメージづ
くりにつながる。政策
推進課なども連携しなが
ら進める。

月山山菜そば

問 組合の会員数及び今後
の方策は。

答 現在17会員である。大
変好評であり、今後も
郷土食として推進してい
きたい。

四季まつり事業

問 様々なイベントに役場の職員が数多くスタッフとして動員されている。町民参加型のイベントにすべきだ。

答 実行委員会形式で実施しているが、商工観光課の職員が一年中イベントに携わるといったのが実態だった。その改善について検討を始めている。

問 また、商工観光業の所得向上は、イベント一辺倒のままでは難しい。イベント主導型からの脱却を図り、例えば滞在型体験プログラムに対応することなどで収入を上げていくような形に変えていきたい。

地域産業育成支援

問 小規模事業所が大変な状況にある。町の事業の発注の際は、落札した業者から下受けや孫請けまでも町内の業者に広がるよう支援してほしい。

答 昨年から実施している店舗のリフォーム補助事業などは町内業者に発注するよう要綱に定めている。

問 さらに、金融懇談会の下部組織として事業継承支援チームを位置づけるよう要綱に定めた。これまでできなかった「御用聞き」的なことを巡回方式で実施し、様々な補助事業などの手続きまで支援する。このように事業者を支えるしくみをつくっていく。

インバウンド

問 NPOが台湾からの誘客でがんばっている。法人化の話もあるが、町内に2つの観光協会ということになれば、住み分けをきちんとすべきだ。

答 独立しての活動はまだ難しい状況だ。台湾との交流が主ということでも分けている。また、フィランドからの誘客も行っており、連携して相乗効果の上がる取組みにした。

二次交通確保

問 庄内空港からの二次交通確保の詳細は。

答 これまでの取組みに加え、庄内空港からレンタカーで来た場合に宿泊料を割引するというもので、鶴岡駅からも含め、拡充できないか協議している。

健康福祉課所管

寝たきり老人介護者激励金

問 激励金の金額の見直しについて平成28年度に政策提言した際、相談するとの回答だったが、一度も話し合いはなかった。その理由は何か。

答 また、提言では月5千円で年6万円としており、3万円の根拠がわからない。対象者や民生児童委員からの聞き取りを行い、月3万円のほかに、おむつ代購入補助が月4千円(年4万8千円)で、実質的に

年7万8千円の交付となる。事前の相談を行わなかった点についてはお詫びする。

医療的ケア児

問 町内に24時間体制で看護の必要な重症ケア児が1人いる。町からの独自の補助などはあるのか。

答 病院等に通うための送迎等の検討を進めていく必要がある。国の制度にない部分は独自に検討する必要があり、その対象者の状態などから総合的に判断し、必要な支援策を検討していく。

ケアハイツ西川施設改修補助

問 町は、いつまで施設改修補助を行うのか。

答 これまでの改修の状況や今後の介護サービスの需要の見込み等をふまえると、大方の施設改修は済んだものと思われる。今後話し合いは必要だが、今

回が区切りになると理解している。



▲改修予定のケアハイツ西川の厨房

ブライダルサポート事業

問 結婚推進員を2人増やし、活動報奨金も2万円とした。仲介報奨金も増額してはどうか。

答 仲介報奨金は結婚推進員だけでなく一般の町民の方も対象としているが、周知不足と考えている。金額も大事だが、31年度は婚活のための自分力UPの事業に重点を置くということ

子育て応援米

問 受け取りを辞退した世帯には、うどんなど代替品を給付してはどうか。

答 356世帯のうち3世帯が辞退された。代替品は検討したい。

建設水道課所管

融雪遅延対策補助

問 補助金の交付には、町が豪雪対策本部を設置した時や、過去10年間の平均を上回る雪が降った時という要件があるが、以前から地区によって状況が異なると言ってきた。現在はどうなっているか。

答 補助要綱の変更はないが、検討課題としたい。また、これまで当年の予算の範囲内で補助していたものを新年度の予算で対応することにした。春の作付けに間に合うよう時期の選定は4月の雪で判断する。

みどり団地

問 移住、定住、若者定住が6次総の後期のまちづくりの大きな課題である。3区画が残っているが、2期工事をどのように考えているのか。

答 住宅のニーズが以前と違ってきている。単身世帯や高齢者一人、二人暮らし向けの住宅などを希望する声もある。いずれにしても早急に結論を出したい。

町道舗装・補修工事

問 雪解けのあと、道路に穴が空いたりして危険な。穴だけでなく周りも一緒に直した方が良くはないか。

答 社会資本整備の予算では、道路の全幅の補修を一括して業者に委託している。春先もそうするのが望ましいが、経費も期間も必要であり、部分的な補修を直営で実施している。

手袋を支給

問 きれいな川で住みよくなるさと運動に対し県から交付される27万9千円を、参加された方に有効に使う方法はないか。

答 これまでは事務経費にあてていた。31年度は参加者に作業用手袋を配付したいと考えているが、具体的なことについては、今後、地元の役員と協議をしていきたい。

学校教育課所管

小学校英語教育

問 小学校における英語教育義務化を見すえた計画はどうなっているか。

答 英語活動指導員の配置などにより西村山や県内では例のない充実した英語教育を計画的に実施している。例えば小学1〜3年生については全体計画を策定し、見直しを図りながら

取組みを進めている。また、国や県からの情報提供に基づき、教職員による校内研修などを計画的に実施している。

部活動指導員の配置

問 新たに配置する部活動指導員とは、どのような役割を担うのか。

答 顧問の補助的な立場として、夕方の2時間ほど各部をまわり、活動に関する安全管理を行う。

生涯学習課所管

歴史文化資料館の運営

問 施設の管理はどのように行うのか。

答 施設は5月から11月までの開設とし、郷土史調査員のほかに受付や清掃、案内業務を行う管理人を置く。地元の吉川区から2人を選出してもらう、その2人が交代で勤務する。

ケーシーフレームはどうなった?

町が旧西部中体育館を無償譲渡したケーシーフレーム(株)の状況について、議会は町に何度も報告を求めています。3月の全員協議会でも「進展なし」とのことでした。今後も折を見ながら報告を求めますが、現段階で確認していることを次のとおりお知らせします。

- ◆昨年4月に、債務整理を依頼された弁護士との受任通知が届いたという情報が金融機関から寄せられた。その後、破産手続きが開始されれば町にもその旨が通知されるが、まだ届いていない。
- ◆海味地内の物件(本町と浜松市が差押え済)が売りに出された。破産手続きの前に資産を処分しようとしていると推察している。
- ◆旧西部中周辺の資材等はケーシーフレーム(株)の所有であり、町としては注視している。
- ◆町税等の多額の滞納に関する催告書を送っているが、納入は一切ない。



宮林 昌弘 議員

一般質問

林業振興 森林資源を活かした町づくりを再考すべき (北海道下川町に学ぶ)

町長 林業成長産業化への取組みを強化していきたい

北海道下川町は人口3347人の小規模自治体だが、「資源あるところに産業は興る。エネルギーあるところに産業は興る」をスローガンにして森林資源を余すところなく活かしている。五味温泉をはじめ保育所、学校、高齢者施設、役場庁舎など、公的施設の燃料は木質エネルギーに切り替え、立派に自立している町である。本町にも眠れる豊富な森林資源があり、それを活かした町づくりを再考するため次の質問をする。

林業振興の課題は何か

問 西山杉の貯木場の設置も水沢温泉の木質ボイラーの設置もできない。林業振興が進まない問題や現状をどう捉えているのか。

答 原木ストックヤード(貯木場)は、今年度に森林組合から

当面の間は必要ないという申し出があったので、設置に向けた対応を行っていない。木質バイオマスボイラーは、今後、木材生産量の拡大を目指した取組みで原料のチップの必要量を確保することとしている。さらに、水沢温泉館の現在のボイラーは、その更新時期をふまえた導入を考えている。



下川町一の橋地区地域熱供給システムの木質チップボイラー

林産物の総合産業化

問 西山杉利用をはじめ、広葉樹の香水やシロップづくり、木工、紙漉き和紙、木工細工、コケシづくり、薬草、山菜を含め、多くの山の恵みを生かす匠の会やまぢから研究会、関係する方々が連携し、林業を総合産業化するべきと思うが、どう考えるか。

答 町として経営計画を立てながら対応していく。なお、再造林の際は伐採から植栽までを一貫して行う「皆伐一括造林システム」の構築が必要と考えている。

区有林、町営造林を活かせ

問 町内の各区有林や町営造林は伐期に達したところもある。計画伐採と再造林を実施し循環型林業に率先して取り組み、西山杉の利用促進と各区の収入減の確保など「林業西山の見える化」が必要と思うが、どう考えるか。

答 町民の皆さんの負託に応えるべく初心にかえる。元気な町を目指すため、体やこころの健康のみならず、地域、そして「まちが健康」であることをキーワードに、町全体の健康を町民の皆さんと共に考え、住み続けたい「まち」としての価値を高め、町民満足の向上につなげていけるよう、全身全霊でその職責を全うする。

町長の決意を

問 地域経済の循環を良くしないと真の元気は出ない。既存企業を含め新たな起業(仕事づくり)を興さないで雇用拡大もできないし、目標人口5000人確保もできない。今からでも遅くない。限界集落が出ないよう、消滅市町村にならないよう、持続可能な町をどうつくるのか町長の決意をお聞かせ。



佐藤 耕二 議員

一般質問

提案 町民の方に密着した3つの提案

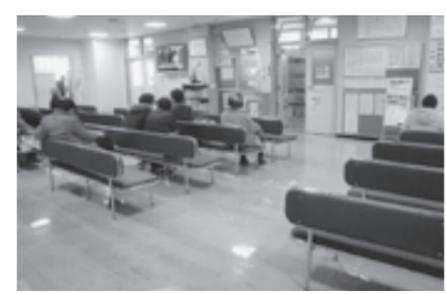
町長 町民目線でその意見を反映させるのは町政の基本

今年の冬に町内を見て回った。町民の方が困っていることや高齢者の方が大変な思いをしていることなどが見えてきた。それらを解決し、町民目線で住みやすい町にするため次の3つの提案をする。

病院の待合用椅子

問 町立病院の待合室の椅子は背もたれが低く硬いので、特に高齢者の方は長時間座っているのが苦痛だ。バスの出発までこの地区の方も町立病院にいた時間は4時間30分以上もある。既に購入してから25年たつので座りやすい椅子に交換すべき。

答 病院の資産取得については電子カルテや内視鏡等の最先端の医療機器長年使用した機器類の更新に費用がかかっており、椅子等の更新まで予算配分が難しい状況



町立病院待合室の様子

消雪道路

問 海味や吉川の一部は道路の幅員が狭く除雪が大変である。地域住民のために消雪道路を作るべき。特に鶴岡市温海地区で実施されている路面流水消雪方式を、流雪溝の水を利用して実施してはどうか。

答 消雪道路は家屋が連なっている場所や幅員が狭く機械除雪がしにくい箇所が多いと思う。本町においても、水沢地区内でも管理の国道時代に散水式の消雪道路があったが、道路に面した建物が水跳ねによって凍結したり汚れたりなど、様々な理由で廃止し、機械除雪に切り替えた例がある。このようなことから、消雪道路の整備には解決しなければならぬ



寒河江市内の散水式消雪道路

屋根付きのバス停

問 雪や風の強い中、高齢者の方や子どもたちがバスを待つのは大変だ。屋根付き外壁ありの停留所を作るべき。それも西山杉を活用した停留所を。

答 路線バスの停留所は138箇所(町内101箇所、町外37箇所)ある。町内の国道沿いの停留所で屋根付きの待合室などが設置されている5箇所のうち、西川交流センター前及び陸合の停留所は(株)ヤマコーから町に譲渡されたものである。町内路線の停留所



雪に埋もれるバス停留所

6人の一般質問

6人の一般質問



飯野 咲子 議員

一般質問

周年農業 地域を守っていく有効な手段は

町長 各地域での話し合いと地域を越えた取組みが重要

平成28年度に、スノーボールの促成施設としてパイプハウスを増設し、生産の拡大を図った。販売総額は1000万円を超えている。



スノーボールの促成施設 (熊野)

周年農業として啓翁校に取り組んでいるが、他にハウス栽培の取組状況は。

ハウス栽培

儲かる農業であれば、みんなが取り組むと言う声を聞く。しかし、アベノミクス農政下で際限のない輸入自由化が進められ、離農を加速させている。また、大規模化や企業参入を最優先し、農協、農地制度、種子法など諸制度を破壊した。どうしたらふるさとを守るか、その打開策をうかがう。

期間の促成栽培を実施し、販売額1000万円を超えている。30年度からは、タラノメの促成栽培のため啓翁校加温施設を活用した実験栽培を行っている。さらに31年度は、新規就農者がハウス栽培にも積極的に取り組む施策として新たな予算を計上しており、現在トマトの栽培を予定している。

耕作放棄地対策

耕作放棄地にならないように最も気をつけていることは何か。また、その手立ては何か。

農地の実情や今後の農地の維持について各地域で話し合い、方向性をしっかりと定めることが重要で、地域農業のマスタープラン「人・農地プラン」を町内12地区すべてで策定していただいた。そのプランをふまえ、農業機械施設整備事業等による支援の充実を図っている。

また、中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払制度などにより、各地域の農地保全のための貴重な財源を確保している。さらに、昨年8月の豪雨災害を受け、災害対策本部設置時の復旧にかかる地元負担率の軽減を図った。



佐藤 幸吉 議員

一般質問

諸課題 人口減少に歯止めをかけ、後継者の育成を

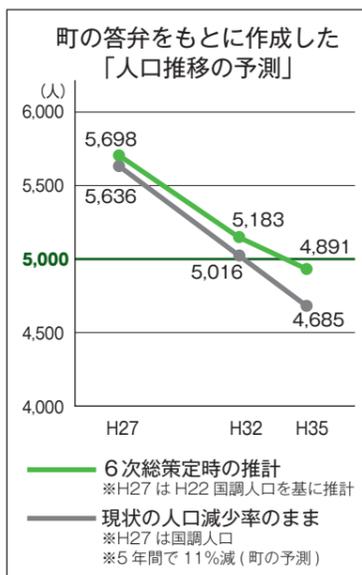
町長 町民意識調査の結果をふまえ、着実な対応を進める

各事業分野における後継者の育成確保は、町の存続にも影響する大切な事項であり、人口減少の問題と合わせ質問する。

人口減少の抑制策

6次総策定から10年後の人口5000人を守るための抑制策は、どのように取り組むのか。

現状のまま人口が推移した場合、平成27年10月1日時点に対し、5年後の32年10月1日時点での人口減少率は11%と予測して



保小中一貫教育

保小中一貫教育の目標は、将来の町を担う後継者の確保にもつながる。達成の道筋をどう立てるか。

そのまま推移すると、総合計画最終年度の35年度には5000人を下回る可能性もあると考えている。このような状況や今年度実施した「町民意識調査」の結果をふまえ、後期計画では、「定住人口維持確保」を最重要目標に掲げ、各種事業等による着実な対応を進める。



特色ある教育活動の一つ「ブナの森自然学校」

本町の学校教育目標「ふるさとを愛し、高い志を持ち、ぶなのようにたくましく、共に学ぶ子ども」の具現化のため、三つの基本方針により教育実践に取り組んでいる。

- ①保小中一貫教育の推進
②本町の人・自然・歴史・文化等を活かした特色ある教育活動の推進
③コミュニケーションスキルを核とした、地域とともにある学校づくりの推進

商業の後継者確保

後継者がおらず規模縮小、廃業につながる商業の実態をふまえ、どう対応するか。

昨年9月に商工会が実施した「経営状況等に関するアンケート調査」の結果や現状分析により、全般的に閉塞感が漂い厳しさが増していると理解した。この意識を上向きに転じさせる取組みが後継者確保に直結するものと考えている。

31年度は、これまでの支援策に加え、事業所の経営状況や今後の成長予測を加味した県内一の融資制度として事業性評価融資制度を創設するほか、商工観光相談員(仮称)を県や関係機関と連携して配置し、事業者や起業者の意欲を引き出すとともに、月山ビジネスや

農業の後継者確保

町民アンケートの農家の回答は「規模を縮小したい、農地を貸し付けたい、やめたい」を合わせると37.86%だった。後継者の育成が大切と考えるが、どう対応するか。

町内でしっかりと農業所得が得られ、農業で生活できる仕組みづくりが、新たな農業者の確保につながるものと考えている。

具体的には、周年農業モデルの確立や、新たな農業者への支援の充実を図っている。特に、農業者にとって何よりも必要な農業機械導入への支援として、他市町村に例のない農業機械導入支援事業やリース事業などへの補助の充実を図る。

通年観光 駐車場からリフト下駅までのアクセス

町長 実現に向けた取組みを具体的に進めていく

不便であると認識している。この課題を克服できれば誘客数のかなりの増加を期待できると考えている。新年度予算に「月山リフト新設可能性調査委託料」を計上し、実現に向けた取組みを具体的に進めていきたい。

ロープウェイ設置調査

より多くのお客様を駐車場から上駅まで一気に運べるロープウェイが必要では。

想定するコースや乗員数等で様々なケースが予想され、リフトにするかロープウェイにするかも含め、新設可能性調査をしっかりと行う。



月山ペアリフト



大泉 奈美 議員

一般質問

水道

町の水道事業の経営と安全性について

町長 今後も町として施設整備や更新などに取り組む

昭和40年に鶴部飲料水供給施設を整備してきた。平成4年の中軸飲料水供給施設第1期拡張工事をもって、町内における一連の整備が終了した。さらに、水道の近代化を図るため中央監視装置を導入し、広域簡易水道から西川町上水

本町は水をシンボルに「自然と共存する郷」として、独自の排水規制や河川等の一斉清掃、西川小4年生による「水源地宣言」など、自主的水質保全の取り組みを行なっている。町民の生活に重要な「安全・安心・持続プロジェクト」の水道事業についてお聞きする。

西川町の水道

町の水道建設と事業の経過は。

昭和40年に鶴部飲料水供給施設を整備してきた。平成4年の中軸飲料水供給施設第1期拡張工事をもって、町内における一連の整備が終了した。さらに、水道の近代化を図るため中央監視装置を導入し、広域簡易水道から西川町上水



▲岩根沢紫外線処理(浄水)施設

本町の水道料金は西村山郡内でも中位くらいにある。水道事業は公営企業として運営しており、特に上水道と簡易水道との合併後は支出に見合うような収入にならず、29年度実績で1500万円ほど一般会計から繰り入れた。今後の検討が必要と考えている。また、湧水が主な水源ということもあり、

今後、水道料金、水質の問題は。

道に改め、現在に至る。耐震化については、大井沢地区で石綿セメント管の更新工事を進めている。

水道法の一部改正

これまで塩素滅菌のみの浄水だったが、より一層の安全性の確保のため浄水施設の整備を行なっている。

水道法が一部改正された。人口減少の中で今後の経営をどう考えるか。

水道法の一部改正では大きく次の5点が改正された。

- ①関係者の責務明確化
②広域連携推進
③適切な資産管理推進
④官民連携推進
⑤指定給水装置工事事業者制度改善

災害に備えた技術者の確保という観点で、現在の職員体制に問題はないか。

災害対策の人員確保

当課は建設部門などの職員も所属しており、技術担当3名が現場に向かつて、その他の職員でバックアップすることができ、現在の職員体制で特に問題はない。

月山自然水と西川のおいしい米は月山自然水で炊けばさらにおいしく食べられることなどをしっかり消費者に伝えながら、これまでもセット販売を実施し、リピーターとなつた方からは水と米それぞれ継続的にご購入いただいている。また、地ビール月山も、おいしい水があるところにおいて酒があり、それが地ビール月山であることなどを強くPRしながら商品販売を実施している。今後もそのコンセプトを大事にしていく。

特産品づくり

町民は「水の守り人」として、日々の生活の中で森、川、郷土を護っている。「水にこだわった町の特産品づくりに力」と思うが、方針は。

月山自然水と西川のおいしい米をセットにした商品化は、町産のおいしい米は月山自然水で炊けばさらにおいしく食べられることなどをしっかり消費者に伝えながら、これまでもセット販売を実施し、リピーターとなつた方からは水と米それぞれ継続的にご購入いただいている。



奥山 敏行 議員

一般質問

元気なまちづくり

第6次総合後期計画について 人口5000人を割らない対策を

町長 産業振興、生活環境対策、地域づくりと人材育成に関する施策・事業を推進する

町は、後期計画により平成35年までに人口5000人を割らないことを目標としているが、31年度はどのような取り組みを実施するか。

実践型PR窓口

高齢者の一人暮らしや二人暮らしの家庭がどんどん増え、空き家も同じく増えている。この問題について町独自の空き家対策事業と子育て支援事業とを組み合わせ、さら



▲ヤマガタ未来ラボによる「JUターンとなりわいの勉強会」の様子

28年度、関係各課による移住サポートセンターを設立し、ワンストップ機能を強化している。さらに、移住のための支援金の交付や空き家の利用促進にかける支援などを制度化している。これらの制度を元にしてサポートセンター

に都会から移住者を家族ごと呼び込むための施策と地域おこし協力隊事業とを組み合わせ実践のPR窓口を設けられないか。

の定例会により関係各課の連携と移住者に対する相談や支援の充実を図っている。

山形への移住定住について全国的な活動を行なっているヤマガタ未来ラボの田中麻衣子さんの研修を3年前に受けた。その時は町職員も一緒だったが、目の前にPRの窓口となり得る活動をしている人がいるの、その後、町は何のフォローもしていない。

町の研修の講師を務めていただいた方との連携は、ご指摘を念頭に置いて今後進めていきたいと考える。

支援制度の充実

自然教育学習センターと里山社会・文化研究所について、31年度はどのように進める予定か。

自然教育学習センターについては、30年度に実施したモデルプログラムの評価をふまえ、31年度には、地域行事や自然体験などを実施しながら、今後の具体的な対応を検討する。里山社会・文化研究所については、町民意識調査結果の研究員による分析や、西川版「幸福指標」の創出と併せ、町民の皆さんにわかりやすい講座等を開催し、次代を支える人材育成につながる活動に取り組んでいく。



▶大井沢地域づくりフォーラム

各地区に町の地域支援職員を派遣して地域づくりを進めているが、国や民間の人材ネットを活用し、地域おこしのプロの指導者の協力を受けてはどうか。

地域支援職員派遣は現在の第6次総合計画と一体的に各地区の地域づくり計画を策定した。今後の後期基本計画等でも、各地域づくり計画の見直しを行なった。

また、29年度から試行している集落支援員の配置による地域づくりの取組みは、効果等の検証を継続しながら、地域と町の役割分担や財源など、今後の具体的な仕組みづくりの協議と検討を進めることとしている。人材ネットの活用は今後の参考とさせていただきます。

町の取組みを今後も検証

常任委員会報告

総務厚生常任委員会
産業建設常任委員会

3月7日に開催した各常任委員会では、昨年12月に提出した行政評価（事務事業評価）や政策提言に対する町の回答をそれぞれ確認しました。その内容は以下のとおりで、今後の常任委員会活動の中で検証等を進めて行く予定です。

政策提言（政策提言の内容は議会だより第107号12～13ページを参照してください）

テーマ	町の回答（抜粋）	議会の考え方
里山社会・文化研究所設置運営事業	・平成31年度末を目標に、西川版「幸福指標」を作成し、報告する。 ・今後の事業及び組織体制等も検討する。	「幸福指標」を今後のまちづくりにどのように活用するのか。事業の目的達成のための組織体制作りを検討すべきだ。
西川のまちづくり応援団	・ふるさと納税者や県内在住の町出身者にもPRを行う。 ・町民の理解が得られるよう事業を継続し、交流を推進する。 ・誘客支援事業は見直しを進める。	マンネリ化した事業への具体的な対応策が見えない。応援団が独自に町を応援する事業への支援とはどのようなものか。応援団員を町内への移住対象者として捉え、積極的なPRを展開すべきだ。
西川町シルバー人材センター	・センターとともに積極的な取組みを進め、受託業務料5000万円の目標達成に向け、業務の拡大と開拓を図る。	町全体でシルバー人材センターの活用を検討し、受託事業の拡大を支援すべきだ。
西山杉の利活用推進	・製品とのふれあい生活導入、職人の誘致と育成等は今後検討を進める。棺は検討したことがあり、問題が多く断念した。 ・木質バイオマスは安定的な運用のため総合的な経費検討をした上で導入を考る。	検討するという回答を得たが、その検討の先に何かを実施するという前向きな姿勢が感じられない。全てにおいて前に踏み切れないように見えるのは、町長の決断が足りないからではないのか。

行政評価【事務事業評価】（行政評価の内容は議会だより第107号14～15ページを参照してください）

テーマ	町の回答（抜粋）	議会の考え方
民生委員推薦会に要する経費	民生委員法の規定や町推薦会規則等に基づき、さらに趣旨及び対応の徹底を図る。	地区で推薦する場合のマニュアルを作成し十分な協議の上で、町の推薦会に諮ることを徹底すべきだ。
ブライダルサポート事業	関係機関と連携協力し、継続的に出会いの場や機会の創出を図るとともに、町民あがての機運づくりに取り組む。	自分力upの事業とはどのようなものか。実績につながる企画を期待したい。企業（事業所）での出会いの場の支援やイベントの開催等が必要ではないか。
松ヶ沢堆積場管理事業	早期完了及び完了後の維持管理の対応に向け、国や県などに継続して要望する。	早期完了に向け、国や県に積極的な働きかけを行うべきだ。
仁田山放牧場運営費	畜産クラスター協議会の事業により畜産振興のみならず町全体の産業振興を図る。仁田山放牧場は継続して運営を行う。	一企業を中核に据えた同協議会に対し確かに期待する部分はあるが、想定する効果などに疑問も残る。民営化も視野に入れた経営見直しが必要ではないか。
教育旅行拡充推進事業	受入体制の強化や小規模校への呼びかけ、ターゲットの拡充を行う。	事業を進める上で最も重要な受入体制をどのように強化するのか。また、教育旅行のニーズをきちんと捉えているのか。
寒河江ダム関係に要する経費	水の文化館を月山湖周辺の情報拠点として対応を進める。ダム周辺施設は関係機関と整備内容等の調整を進める。	町の回答を文字どおりに受け取れない。水の文化館は既に本来の姿を失っており迅速な対応が必要だ。

【検討結果の一覧（抜粋）】

テーマ	上段：検討結果／下段：今後の対応
議員後継者育成	中学生対象の模擬議会を開催する。 平成31年度実施予定
議会への無関心	①「対話の集い」で議員の役割や活動内容などを説明する。 ②防災行政無線で議会開催と傍聴を呼びかける。 ①平成30年度から実施、継続 ②平成31年度実施検討
議員報酬の見直し	①議会の役割、議員の活動内容に町民の理解を得ることが必要。 ②客観的な立場から特別職報酬審議会による検討を依頼する。 ①今後も検討継続 ②町に要望済み、今後も検討継続
各種手当等の創設	全国的にも例が少なく具体的な内容の検討が必要である。 検討継続
選挙運動に関する申し合わせ（費用のかからない、立候補しやすい環境整備）	公職選挙法に則った選挙運動活動が原則であり、申し合わせに強制力はない。 立候補者同士の話し合いによる
立候補者全員での政策発表会の開催	選挙期間が短い町議会議員選挙では困難である。 なし
総務省が示した議会のあり方への対応	県や全国の町村議会議長会として取り組んでいる。 西川町議会としても要望していく。

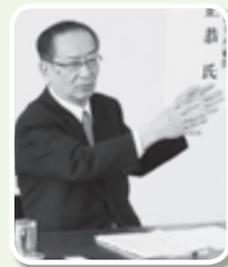
議会のなり手確保対策検討報告
議員のなり手確保対策検討報告

「令和」に踏み出す議会の取組み

議員のなり手確保対策の検討については、議会だより第104号（18～19ページ）にその検討状況などを掲載し、議員間や各種団体との意見交換の中で様々な意見が出されたことを紹介しました。

その後も全議員による議会活性化議員懇談会の中で具体的な協議を進め、30年12月に検討結果の取りまとめを行いました。

その内容は上記の表のとおりですが、いずれもすぐに効果の望めるものではなく、今後も具体的な研究や協議を行わなければなりません。また、今後も町民の皆さまのご意見が必要で、4月21日執行の町議会議員選挙により、新たな時代「令和」に踏み出す議員が決定します。これからの西川町を支えていく議会のあり方を町民の皆さまとともに考えてまいりますので、ご協力をお願いいたします。



▲北川正恭氏

2月22日、町議会議員研修会を開催しました。今回は、元三重県知事で早稲田大学名誉教授の北川正恭氏を講師に迎え、今後の地方議会として進むべき方向性などを示唆していただきました。

講演の中で北川氏は、二元代表制のもと、議員の総体である議会としての活動も非常に重要であり、住民の声を反映させた議員間討議の必要性や、議会が自己責任のもとで自己決定を行う上で、事務局と一体になった「チーム議会」で取り組むことの意義や重要性について話されました。さらに、現在取り組ん

でいる「事務事業評価」や「政策提言」、「町民と議会の対話の集い」については一定の評価をいただき、今後の取組みに対して大きな期待を寄せられました。

今回の研修をふまえ、3月の町議会第1回定例会では、政策提言と事務事業評価に対する町からの回答を担当の常任委員会で確認し、今後の対応を協議した上で、本会議での審議の際の質問につなげるなど、さっそく研修の成果を活かすことができました。



▲北川正恭氏を囲んで

研修の成果を議会活動につなげよう！
西川町議会議員研修会

知りたい!聞きたい!

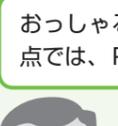
～議会だより107号のアンケートより～ 読者モニターの広場

西川町議会だより読者モニターの皆さまからたくさんのご意見などが寄せられました。その中のいくつかを広報公聴常任委員からの回答とともに紹介します。



H.Tさん

啓翁桜議会はニュースなどにも取り上げられ、話題性があったと思う。ただ、町民としては啓翁桜に対する認知度や関心が低いのではないかと思います。



W.Nさん

おっしゃるとおりです。議会としても町民の皆さまからもっと知っていただくという点では、PRの仕方に再考が必要と考えています。

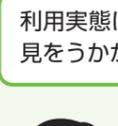
議会全員協議会の「西川学園構想策定」とは？

西川町保小中一貫教育「西川学園」という、保育園も含めた今後の町の教育の方向性を示す構想で、議会全員協議会で説明を受けました。3月の全員協議会に最終案が出され、その内容を了承したところです。教育委員会によると、具体的な方法は未定ですが、町民の皆さまにお知らせする予定とのことでした。



K.Kさん

路線バスの土・日・祝日の運行の本数も、時間帯も考え直してほしい。利用している方への調査をしてもらいたい。



H.Gさん

利用実態に伴う様々な課題があるものと思われまます。議会としても町民の方々のご意見をうかがいながら町に対し意見を述べていきたいと思ひます。

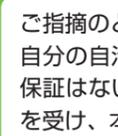
読者モニターの広場は、他のモニターさんが、どのようなことに関心があるのかを知ることができ参考になります。



M.Tさん

掲載の意図をご理解いただきうれしく思ひます。貴重なご意見をこれからも掲載していきますので、よろしくお願ひいたします。

モニターになって議会だよりをすみずみまで読むようになり、町でやっていることって、他の市町村で成功したものを西川町でも…のようになっていると感じている。せっかく視察に行ったのなら、事業を真似するのではなく、「実行力（実現力）」を真似してほしい。



ご指摘のとおりかと思ひます。全国の自治体が、成功例があればそこへ行って勉強し、自分の自治体で実行を目指すのは珍しくありません。それでもうまくいかどうかの保証はないというのもまた事実です。今回の視察では、下川町の取組みに大きな刺激を受け、本町においても大きな決断により前に進むべきと考えています。

ご感想をお寄せください

西川町議会では10人の町民の皆さまに議会だよりの読者モニターをお願いしています。アンケートにより寄せられたご質問やご意見には、きちんとお答えするよう心がけています。読者モニター以外の方でも、議会や議会だよりについて「知りたい!聞きたい!」という場合は、お気軽にお問ひ合わせください。

ファクシミリ 74-2601
メール giji@town.nishikawa.yamagata.jp

自治功労者表彰を受ける

永年にわたり地方自治の振興発展に貢献された本町議会議員3名の方々に、この度、自治功労表彰が授与されました。受賞者は次のとおりです。

全国町村議会議長会表彰
古澤 俊一さん(沼の平)
【議員在職15年以上】



山形県町村議会議長会表彰
宮林 昌弘さん(月岡)
【議員在職11年以上】



山形県町村議会議長会表彰
青山 知教さん(吉川)
【議員在職11年以上】



4年ぶりの入選

西川町議会だより第105号が、第24回山形県町村議会広報コンクールに入選しました。議会だよりは、読者モニター



審査結果
★入選 三川町議会
西川町議会
河北町議会



▲議長、副議長と広報公聴常任委員

ターのみなさんのアンケートや文書アドバイザーの指摘などをきちんと受け止め、町民のみなさんから手に取ってもらう、ページを開いてもらう、見てもらう、読んでもらう、そんな工夫を凝らした編集に努めています。

今回の入選に満足することなく、これからも町民のみなさんから親しまれる広報紙をめざします。

審査員の講評(抜粋)

※3セクの経営状況の報告など、町民が知りたいであろうことや議会としての考えがわかりやすく記載されている。

※全体的に落ち着いた紙面構成。奇をてらわずに必要な要素をきちんと盛り込んでおり、好感が持てる。議会だよりに求められる内容について、議員同士がきちんと理解・共有し、紙面化しているように見える。

※裏表紙にQRコードを大きく乗せ、議会のHPへ誘導しているのは良い。

議会の動き

- 議会全員協議会
 - 2月18日 平成31年度予算案内示ほか
 - 3月6日 第6次総合計画後期実施計画(案)
 - 3月7日 町民意識調査の報告ほか
- 議会運営委員会
 - 2月18日 第1回定例会の運営
- 総務厚生常任委員会
 - 1月24日 事務調査「西川小学校及び図書館の運営状況」ほか
- 産業建設常任委員会
 - 3月7日 政策提言等に対する町の回答の確認ほか
- 広報公聴常任委員会
 - 3月6日 編集会議
 - 3月19日 入稿前編集会議
 - 3月26日 第1回校正
 - 3月29日 第2回校正文書アドバイザー指導
 - 4月4日 第3回校正
 - 4月8日 第4回校正、校了
- その他
 - 2月22日 西川町議会議員研修会

西川中学校

第17回 卒業式



▲凛々しき若者たち



◀笑顔と笑顔



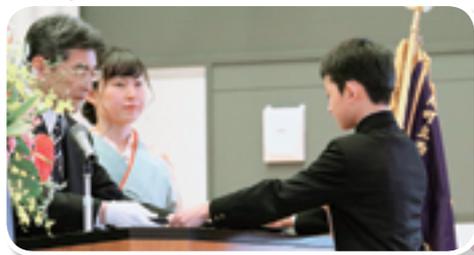
▶今、旅立ちのとき

西川小学校

第7回 卒業式



▲未来をみつめて



◀感謝の気持ちを胸に



▶新しい時代へ

議会へのおさそい

皆さん傍聴してみませんか

パソコンのインターネットでもご覧いただけます

**次回定例会は
6月です**
(6月3日～12日の予定)



※上記QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、議会ホームページにアクセスします。

「元気な子どもたち」
シリーズ8

今回の表紙は、4月6日に開催された西川小学校の入学式の様子です。今年度は27人の元気な新入生が仲間入りをしました。
上級生や先生方などに大きな拍手で迎えられた入場の際は、みな緊張の面持ちでしたが、式が進むにつれて笑顔も増え、先生の呼びかけにも「ハイ！」と大きな声で返事をしていました。

編集後記

亥年は、過去の歴史から見ても大きく変革する年であるといわれます。
今上天皇が4月30日に御退位され、30年続いてきた平成の元号が、5月1日から新元号「令和」に代わることが決まり、新しい時代の幕開けの年になります。
西川町も昭和29年に4ヶ村が合併して誕生してから65周年の節目を迎えました。
本町の第6次総合計画に基づいたまちづくりも後半期に入りました。町の生残りを賭け、持続可能な町をめざして、本気で、本腰を入れて、町や地域、町民が役割分担し、協働によるまちづくりを進めることで町民も地域経済も元気になります。
確実に前進する亥年になるように念じております。
(宮林 昌弘)

《発行・編集責任者》	
議長	伊藤 哲治
《編集委員》	
委員長	大江 広康
副委員長	飯野 咲子
委員	宮林 昌弘
委員	佐藤 幸吉
委員	大泉 奈美